

【策定趣旨】

策定の背景

①本市を取り巻く重要な社会変化

- ✓ 人口減少・少子高齢化の進展
- ✓ 地球温暖化に伴う気候変動リスク
- ✓ 大地震の発生による被災リスク
- ✓ 新型コロナウイルス等感染症拡大リスク
- ✓ 公共インフラの老朽化

②これまでの取組みによる成果

- ✓ 「時間を返す」市民サービスの実現
- ✓ 市民全員参加のまちづくり
- ✓ 国家戦略特区制度を活用した実証

③テクノロジーの進展

- ✓ IoT・センシング技術
- ✓ 分析・予測技術
- ✓ 通信・ネットワーク技術
- ✓ 自動制御技術

④国の動向

- ✓ Society5.0の提唱
- ✓ デジタル・ガバメントの推進

さらなる飛躍・発展を遂げるための好機が到来

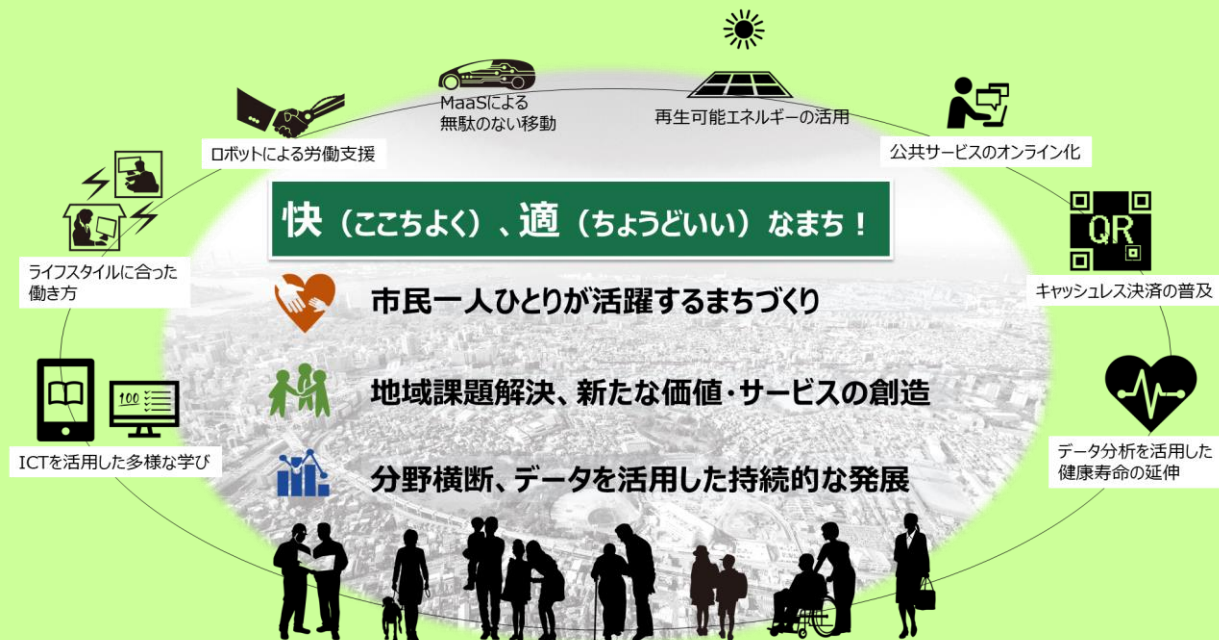
テクノロジーの活用などにより市域全体の生活の質の向上を図り、地域とともに持続可能なまちづくりを進めるため、目指すスマートシティの姿や取組みの方向性を地域住民や民間企業など、異なる役割を担う多くのプレイヤー（ステークホルダー）と共有する「（仮称）スマートシティ推進ビジョン」を策定

【位置付け・期間】

- ・位置付け・ ・総合計画におけるまちづくりを推進し、スマートシティを実現するため各個別計画と整合を取りつつ、分野横断的な指針として策定
- ・期間・ ・ ・ ・ 20年後を見据えての10年程度を対象（5年程度を目安に見直し予定）

【千葉市が目指すスマートシティ】

みんなで作る「快・適」なまち

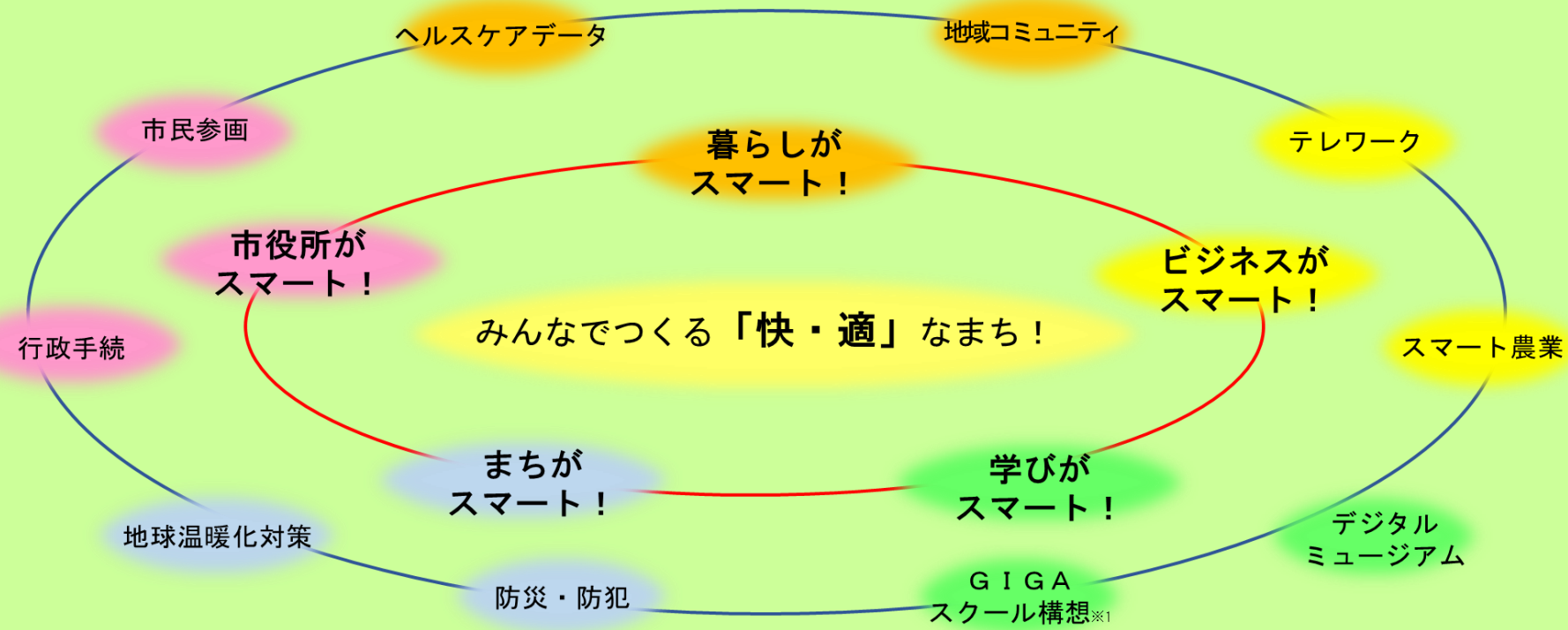


【実現のための原則と重視する視点】

- ・ **3つの原則**… 「市民中心」、「課題解決・価値創造」、「分野横断・全体最適」
- ・ **5つの視点**… 「多様な主体間の連携」、「自立性・持続性」、「個人情報への取扱い」、「安全・安心の確保」、「データ活用による課題解決」

【取組みの方向性 ～5つのスマート！～】

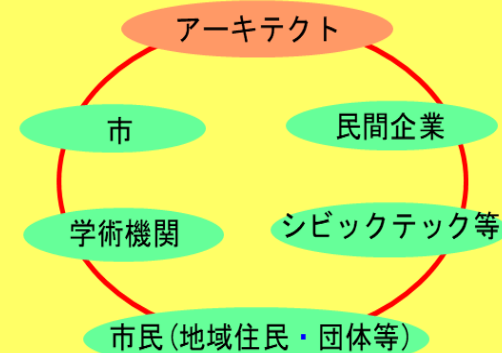
- ・ 目指すスマートシティの市民目線での実現に向け、あらゆる分野を「暮らしがスマート！」 「ビジネスがスマート！」 「学びがスマート！」 「まちがスマート！」 「市役所がスマート！」 に分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取組を分野横断的に順次実施



【推進体制・推進手法】

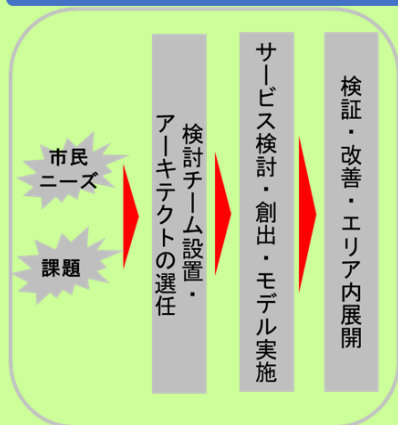
- ・全庁横断、産官学民での協力、シビックテックや地域住民・団体等との連携・協働により、取組単位で多様なステークホルダーを巻き込んだ検討チームを組織し、できることから着実に推進（スモールスタートからのステップアップ）
- ・検討チームの運営に係る共通的な事項や、環境・行政DX分野など、市全体として統一的な対応が求められるものは行政が主体的に推進

検討チームの構成例

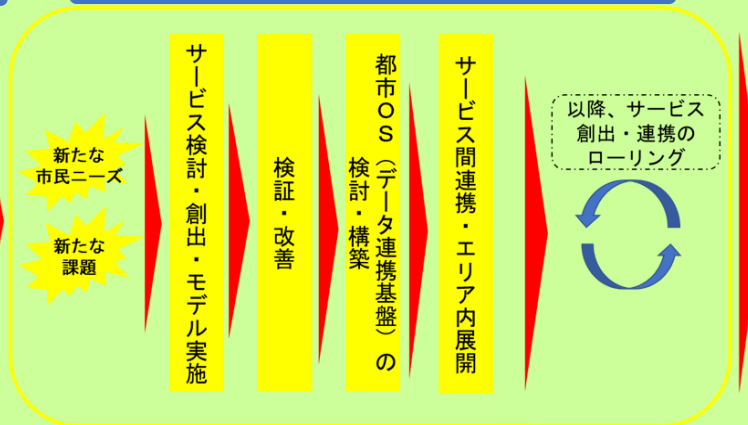


スマートシティの推進イメージ

【STEP1】対象エリアでの取組み



【STEP2】対象エリアで複数の取組みを連携



【STEP3】他エリアへの横展開

